

平成28年度事業報告

少子・高齢社会の急速な進展、地域における相互扶助機能の弱体化や要援護者数の増加など社会福祉を取り巻く環境が大きく変化している今日、地域住民の福祉に対するニーズは増大かつ多様化しており、地域福祉の充実が強く求められている。

こうした中、26地区協議会においては、地域住民の積極的な参加によるふれあいいきいきサロン事業をはじめとする「小地域ネットワーク活動」等を実施し、地域住民の心の拠りどころとなる身近な地域福祉活動を展開した。

また、福島市から「権利擁護センター」の業務を受託し、認知症、精神障がい、知的障がい等により判断能力が著しく低下した状態にある方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう権利擁護の普及啓発を進めるとともに、成年後見制度の利用促進を図った。

併せて、東日本大震災にかかる復興を目的に、交流活動や情報の提供など避難者に対する支援活動を実施した。

さらに、本会の財政健全化を図るため、平成28年度から32年度までの5か年間に取り組む「第二期財政健全化中期計画」に基づいた事業運営を行うとともに、「地域福祉活動計画2016」に基づいた地域福祉活動を推進し、介護保険サービス及び障がい者福祉サービス事業においては、要援護者の各種ニーズに応えるため質の高いサービスの提供に努めた。

【総務課：成果と課題】 1.

財政健全化への取り組み

- ① 第二期財政健全化中期計画の初年度は、これまで取り組んできた各種支出の抑制の継続に努めた。事業活動における支出を、前年度決算額より13,962千円減少させた。
- ② 本会会費は、一般会費が543世帯（16万3千円）の増加、特別会費が162口（162千円）の減少、法人会費は新規加入10法人があったが、2口以上加入していた事業所のうち数社が1口加入となったことが影響で155千円の減少となった。
会費収入をあげるためには、本会事業内容を理解していただくことが重要である。そのためにも、ホームページ等のインターネットを利用した広報活動を強化し本会活動を広範囲に周知していくことが必要である。

2. 地域福祉の推進

- ① 地域福祉活動計画2016に基づき、住民参加により地域福祉を推進する26地区協議会活動の充実を図ってきたが、地域ニーズに即した活動が展開出来るよう各地区協議会の支援をさらに強化に努めなければならない。
- ② 地域のボランティアと協力し、高齢者や子育て中の親子が集える「サロン」は、各地域で活発に展開されている。孤立防止や介護予防、生きがい、健康づくりなど、仲間づくりや交流・ふれあいの場を広げ、継続させるためにも、今後もサロン活動への支援・強化を図らなければならない。

- ③ 認知症高齢者等判断能力不十分な方の増加に伴い、日常生活自立支援事業の相談件数は増加傾向にあり、今後も福祉関係者との連携強化を図り、サービス利用者の支援に努めなければならない。併せて、権利擁護の普及啓発を進めるとともに、成年後見制度の利用促進を図り、地域における権利擁護体制の充実に努めなければならない。
- ④ 生活困窮者からの相談に対し、貸付の必要性を判断し自立した生活が送れるよう相談支援を行った。今後は、今日的な課題である生活困窮者への適切な対応を行うためにも、相談支援体制の強化に努めなければならない。

3. 復興支援活動

- ① 東日本大震災に伴い、未だ多数の他市町村住民が福島市内に避難している現状がある。新たな生活環境は大きな精神的ストレスとなっていることから、福島市内の借り上げ住宅等で避難生活を送る方への憩いの場の提供と、住民同士の交流や情報交換、仲間づくり、避難者への生活相談支援を目的とした「ホッとサロン『てとて』」及び「リフレッシュツアー」を定期的で開催した。また、避難生活者への支援として個別訪問を積極的に行ってきたが、長期化する避難生活より、心身の不調などの変化が見られる方もあり、個別支援の強化の必要性が明らかとなった。今後も先の見えぬ避難者の更なる生活相談支援及び避難者が居住地に馴染んだ生活が営めるための支援に努めなければならない。

4. 障がい者相談支援

- ① 在宅身体障がい者の自立支援に向けた相談に対し、相談支援専門員及びピアカウンセラーが各種サービス提供事業所及び関係機関等との連携を図りながら支援を行った。今後も関係機関との連携強化を図り、在宅障がい者の支援に努めなければならない。

■総務課 総務係

1. 理事会、評議員会及び監査会の開催 (350千円)

- ・ 本会運営にかかる重要事項等審議のため、理事会、評議員会を開催した。また、本会の業務執行状況や経理執行状況、財産状況等に係る監査会を実施した。

○理事会

平成28年

- ・ 4月 1日(金) 第1回理事会
会長及び副会長選任、常務理事指名、会長職務代理者指名
- ・ 5月31日(火) 第2回理事会
平成27年度事業報告及び決算承認、評議員委嘱
- ・ 7月29日(金) 第3回理事会
副会長選任、会員及び会費に関する規程及び臨時職員就業規則の一部改正
評議員委嘱
- ・ 12月19日(月) 第4回理事会
定款の一部変更、評議員選任・解任委員会運営規程新設、役員並びに評議員選任規程一部改正、平成28年度補正予算

平成29年

- ・ 2月20日(月) 第5回理事会
専決処分承認について、評議員選任・解任委員会委員の選任について評議員候補者の推薦について、就業規則の一部改正について、給与に関する規程の一部改正について
- ・ 3月24日(金) 第6回理事会
平成28年度補正予算について、評議員及び役員の報酬に関する規程の新設について委員等費用弁償規程の新設について、経理規程の一部改正について平成29年度事業計画について、平成29年度予算について、契約について組織規程の新設について、就業規則の一部改正について、処務規程の一部改正について、定款施行細則の改正について、職員の給与に関する規程の一部改正について、専門職員就業規則の一部改正について臨時職員就業規則の一部開改正について、非常勤職員就業規則の一部改正について、職員服務規程の一部改正について、会員及び会費に関する規程の一部改正について、地区協議会設置規程の一部改正について、居宅介護サービス利用者負担額減免実施規程の一部改正について、評議員会の開催について、生活援助資金等貸付金にかかる欠損処分について

○評議員会

平成28年

- ・ 5月31日(火) 第1回評議員会
平成27年度事業報告及び決算承認
- ・ 7月29日(金) 第2回評議員会
理事選任
- ・ 12月19日(月) 第3回評議員会
定款の一部変更、平成28年度補正予算

平成29年

- ・ 3月24日(金) 第4回評議員会
平成28年度補正予算について、平成29年度事業計画及び予算

○監査会

- ・ 5月18日（水）監査会
- ・ 10月28日（金）第1回中間監査
- ・ 2月28日（火）第2回中間監査

2. 財政基盤の確立

一般会費	26地区協議会 90,030口	27,009,070円
特別会費	26地区協議会 11,920口	11,920,000円
法人会費	328法人 359口	3,590,000円
共同募金	配分金 17,694,881円 ○一般配分金 16,794,881円 ○特別配分金 900,000円	
寄付金	220件 11,353,205円 ○一般寄付 43件 6,797,868円 ○指定寄付 173件 4,498,221円 ○支援金 1件 57,116円	
ボランティア基金	寄付 3件 336,000円 利息 9件 68,020円	

3. 広報活動（4,948千円）

- ・ 「福祉たより」の発行（5月号（第160号）、8月号（第161号）、10月号（第162号）1月号（第163号））やホームページを活用し、本会実施事業や地区協議会活動状況等の情報発信に努めた。

4. 車いす同乗軽自動車の貸出【福島市受託事業】（238千円）

- ・ 身体障がい者等の自力で歩行が困難な方がより多くの外出の機会を得ることにより、健康で生きがいのある生活が出来るよう車いす同乗軽自動車の貸出しを行った。
貸出件数 90件

5. 地域活動支援センター及び親の会等の支援（1,490千円）

- ・ 地域活動支援センターへの運営費補助 8ヶ所 240千円
- ・ 親の会等関係団体への運営費補助 15ヶ所 1,250千円

6. 福祉バス運行事業【福島市補助事業】（2,833千円）

福祉向上を目的とした施設利用や視察研修等に福祉バスの運行を行った。

運行実績 利用団体 137団体
利用人数 2,467名

7. 実習生等の受入

将来の地域福祉の担い手たる社会福祉士等専門職養成のため、相談援助技術等を学ぶ場の提供を行った。

学 校 名	実 習 等 名	受入れ人数
東北文化学園大学	ソーシャルワーク実習	1名
東北福祉大学	社会福祉援助技術実習	1名
福島学院大学	社会福祉援助技術実習	1名
聖徳大学	社会福祉援助技術実習	1名
郡山健康科学専門学校	社会福祉主事現場実習	1名
東北福祉大学	体験学習	1名

8. 平成28年熊本地震支援にかかる職員の派遣

4月14日（木）21時26分頃、熊本県熊本地方においてマグニチュード6.5、最大震度7の地震が発生した。本会では福島県社協からの職員派遣要請を受け、職員1名を熊本県に派遣し支援活動を行った。

- ・派遣期間：5月19日（木）～25日（月）の7日間（移動日2日を含む）
- ・派遣先：熊本県社会福祉協議会

9. 第12回福島市社会福祉大会（995千円）

多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々や団体を表彰するとともに、更なる地域福祉の充実を目指し社会福祉大会を開催した。

- ・期 日 平成28年11月21日（月）
- ・会 場 福島県文化センター大ホール
- ・参加者 744名
- ・内 容 記念講演『今、できること～がんばっぺ！オラの大好きな日本』
講 師 ダニエル・カール氏
式 典 表彰状及び感謝状の贈呈
 - ・福島市長感謝状 159名
 - ・大会会長表彰状・感謝状 201名

10. 福祉サービス苦情解決実施状況

本会が提供する福祉サービスについて、利用者からの苦情に適切に対応することにより個人の権利を擁護し、安心して質の高いサービスが利用できるよう支援するとともに、苦情の社会性や客観性に鑑み、円滑・円満な解決を促進し、本会の信頼性や適正性の確保を図るため、苦情解決を行った。

○苦情の内容

障がい者への情報提供に関する事項	1件
計	1件

○解決の方法

苦情申出人又は利用者・家族等に説明して解決	1件
計	1件

■総務課 地域福祉係

1. 地区協議会活動の支援 (41,072千円)

(1) 地区協議会研修会(地域ささえ合いネットワーク研修会)の開催

今後もこれまで以上に、地域福祉の中核として「住民主体の福祉コミュニティづくり」を進め、「誰もが安心して暮らせる地域社会」を実現するため、また、地域住民や各関係機関・団体と地域課題を共有し、その解決に向け連携・協働による事業を計画的に進めていくため、その基盤となる地区協議会の実践活動事例を学ぶことを目的に開催した。

期 日	平成28年7月27日
会 場	ウエディング エルティ
内 容	地区協議会活動発表 第三地区協議会、蓬莱協議会、清水協議会、飯野協議会
参加者数	103名

(2) 地区協議会活動及びサロン活動の支援

①地区協議会総会等への出席

- ・平成28年4月22日 第五地区協議会「総会」
- ・平成28年4月23日 第四地区協議会「理事会」・「総会」
- ・平成28年5月6日 信夫協議会ボランティア部会「総会」
- ・平成28年5月11日 東部協議会「総会」
- ・平成28年5月13日 蓬莱協議会「理事会」
- ・平成28年5月13日 信夫協議会「総会」
- ・平成28年5月20日 第二地区協議会「総会」
- ・平成28年5月23日 第三地区協議会「総会」
- ・平成28年5月23日 飯野協議会「総会」
- ・平成28年5月26日 蓬莱協議会「総会」
- ・平成28年5月30日 三河台地区協議会「総会」
- ・平成28年5月30日 立子山協議会「総会」
- ・平成28年6月13日 鎌田協議会「総会」
- ・平成28年6月14日 瀬上協議会「総会」
- ・平成28年6月16日 清水協議会「総会」
- ・平成28年6月20日 吾妻協議会「総会」

②地区協議会等支援

・第四地区協議会

期 日	平成28年7月20日
会 場	福島かすみ庵
対 象 者	地区協議会役員
内 容	ふれあいサロン立ち上げ検討会

・第四地区協議会

期 日	平成28年8月24日
会 場	福島市保健福祉センター5階会議室
対 象 者	地区協議会会員
内 容	地域ささえ合い研修会

- ・第四地区協議会
 期 日 平成28年9月26日
 会 場 福島市保健福祉センター4階ボランティアルーム
 対 象 者 地区協議会役員
 内 容 企画・運営協力（広報会議）
- ・第二地区協議会
 期 日 平成28年10月20日
 会 場 サンパレス福島4階
 内 容 第二地区いきいきのつどい
- ・第一地区協議会
 期 日 平成28年10月25日
 会 場 ホテル辰巳屋8階
 内 容 高齢者昼食会
- ・第三地区協議会
 期 日 平成28年10月27日
 会 場 松浪町会会議室
 対 象 者 第三地区内サロン代表者
 内 容 平成28年度いきいきふれあいサロン交流会
- ・第四地区協議会
 期 日 平成28年11月28日
 会 場 福島市保健福祉センター3階和室会議室
 対 象 者 地区協議会役員
 内 容 企画・運営協力（広報会議）
- ・大笹生協議会
 期 日 平成28年12月6日
 会 場 大笹生集会所
 内 容 平成28年度ふれ愛昼食会
- ・大波協議会
 期 日 平成28年12月8日
 会 場 大波多目的集会所
 内 容 平成28年度大波地区「配食サービス事業」
- ・第三地区協議会
 期 日 平成28年12月12日
 会 場 福島市保健福祉センター4階第一保健指導室
 内 容 二本松市岩代地区社会福祉協議会視察研修受入れ
- ・第四地区協議会
 期 日 平成29年1月23日
 会 場 福島市保健福祉センター3階小会議室
 対 象 者 地区協議会役員
 内 容 企画・運営協力（広報会議）
- ・鎌田・瀬上・余目協議会
 期 日 平成29年2月9日
 会 場 北信支所2階大会議室
 対 象 者 地区協議会役員
 内 容 地域福祉のつどい（社会福祉協議会の役割と仕組み）

・三河台地区協議会

期 日 平成29年2月28日
 会 場 三河台学習センター2階会議室
 対 象 者 地区協議会役員
 内 容 「少子高齢社会における福祉のあり方と心得」

・飯野協議会

期 日 平成29年3月17日
 会 場 飯野支所2階大会議室
 対 象 者 飯野地区サロン代表者
 内 容 飯野協議会サロン交流会

③配食サービス等助成事業

年末年始にかけて、地域の高齢者及び障がい者等の要援護者を支援し、歳末たすけあい運動の趣旨にふさわしい配食サービス等の事業を実施する地区協議会に、事業費の一部を助成した。

地区協議会名	助成金額（円）
第三地区協議会	50,000
第四地区協議会	50,000
第五地区協議会	50,000
三河台地区協議会	50,000
大笹生協議会	50,000
大波協議会	16,000
立子山協議会	50,000
飯坂協議会	33,000
飯野協議会	45,000
合 計	394,000

④ふれあいサロン運営助成事業

ふれあいサロンを開催するグループに対し、助成金を交付し活動支援を行った。

地区協議会名	助成サロン数	助成金額（円）	助成金額内訳
第四地区協議会	1	7,400	@ 7,400 円× 1 サロン
第五地区協議会	2	50,000	@30,000 円× 1 サロン @20,000 円× 1 サロン

地区協議会名	助成サロン数	助成金額（円）	助成金額内訳
三河台地区協議会	2	30,000	@20,000 円×1 サロン @10,000 円×1 サロン
渡利協議会	10	86,900	@10,000 円×7 サロン @ 6,900 円×1 サロン @ 5,000 円×2 サロン
杉妻協議会	9	110,000	@30,000 円×1 サロン @20,000 円×2 サロン @10,000 円×2 サロン @ 5,000 円×4 サロン
蓬萊協議会	20	314,200	@30,000 円×1 サロン @20,000 円×10 サロン @10,000 円×8 サロン @ 4,200 円×1 サロン
清水協議会	25	346,200	@30,000 円×2 サロン @20,000 円×7 サロン @10,000 円×12 サロン @ 8,500 円×1 サロン @ 7,700 円×1 サロン @ 5,000 円×2 サロン
東部協議会	3	30,000	@20,000 円×1 サロン @ 5,000 円×2 サロン
鎌田協議会	5	50,000	@10,000 円×5 サロン
余目協議会	7	63,600	@10,000 円×4 サロン @ 9,300 円×2 サロン @ 5,000 円×1 サロン
笹谷協議会	3	65,000	@30,000 円×2 サロン @ 5,000 円×1 サロン
大笹生協議会	2	20,000	@10,000 円×2 サロン
吉井田協議会	1	10,000	@10,000 円×1 サロン
西協議会	1	20,000	@20,000 円×1 サロン
大波協議会	3	70,000	@30,000 円×2 サロン @10,000 円×1 サロン

地区協議会名	助成サロン数	助成金額（円）	助成金額内訳
立子山協議会	2	20,000	@10,000 円×2 サロン
飯坂協議会	11	140,000	@30,000 円×2 サロン @10,000 円×7 サロン @5,000 円×2 サロン
松川協議会	12	115,000	@30,000 円×1 サロン @20,000 円×1 サロン @10,000 円×3 サロン @5,000 円×7 サロン
信夫協議会	5	110,000	@30,000 円×1 サロン @20,000 円×4 サロン
吾妻協議会	5	60,000	@30,000 円×1 サロン @10,000 円×2 サロン @5,000 円×2 サロン
飯野協議会	22	230,000	@20,000 円×1 サロン @10,000 円×21 サロン
計	151	1,948,300	

⑤ふれあいサロン活動支援

各サロンにおいて、レクリエーション等の支援を行った。

- ・平成28年 4月21日 吉井田地区「ふらーっと茶の間方木田」
- ・平成28年 5月18日 第四地区「つばきサロン」
- ・平成28年 5月19日 清水地区「サロンふじ」
- ・平成28年 6月3日 笹谷地区「毎日元気・はつらっひろば」
- ・平成28年 6月9日 信夫地区「永井川いきいきサロン」
- ・平成28年 6月15日 三河台地区「野田町サロン」
- ・平成28年 6月17日 笹谷地区「毎日元気・はつらっひろば」
- ・平成28年 6月27日 清水地区「森合団地自治会 ふれあい広場」
- ・平成28年 7月14日 吉井田地区「ふらーっと茶の間方木田」
- ・平成28年 7月16日 松川地区「美郷ふれあいサロン」
- ・平成28年 7月19日 渡利地区「渡利春日ふれあい会」
- ・平成28年 7月19日 第五地区「いきいきサロンさつき」
- ・平成28年 7月20日 第四地区「つばきサロン」
- ・平成28年 7月26日 松川地区「やまぎわサロン」
- ・平成28年 7月27日 飯坂地区「石堂いきいきサロン」
- ・平成28年 7月30日 東部地区「舘腰ひまわりサロン」
- ・平成28年 8月9日 第五地区「いきいきサロンさつき」
- ・平成28年 8月19日 第五地区「いきいきサロンさつき」
- ・平成28年 9月1日 吉井田地区「ふらーっと茶の間方木田」

・平成28年9月7日	鎌田地区「ま〜るい茶の間」
・平成28年9月8日	飯野地区「志保井ヶ丘ふれあいサロン」
・平成28年9月13日	第五地区「いきいきサロンさつき」
・平成28年9月28日	第四地区「つばきサロン」
・平成28年10月12日	第四地区「つばきサロン」
・平成28年10月16日	吉井田地区「ふらーっと茶の間方木田」
・平成28年10月18日	渡利地区「渡利春日ふれあい会」
・平成28年10月25日	清水地区「森合団地自治会 ふれあい広場」
・平成28年11月9日	第四地区「つばきサロン」
・平成28年11月15日	渡利地区「渡利春日ふれあい会」
・平成28年11月19日	松川地区「美郷ふれあいサロン」
・平成28年12月7日	第四地区「つばきサロン」
・平成28年12月9日	飯坂地区「サロン桑の実会」
・平成28年12月20日	大笹生地区「中組ふれあい会」
・平成28年12月23日	鎌田地区「マイタウンおやまごし」
・平成29年1月10日	清水地区「松北町健康教室」
・平成29年1月12日	三河台地区「野田町サロン」
・平成29年1月19日	清水地区「サロンふじ」
・平成29年2月8日	第四地区「つばきサロン」
・平成29年2月9日	飯野地区「志保井ヶ丘ふれあいサロン」
・平成29年2月21日	清水地区「森合団地自治会 ふれあい広場」

⑥ふれあいサロン・社協行事傷害補償（傷害保険）加入手続き

ふれあい（いきいき）サロン活動を安心して行えるよう傷害保険への加入を勧め、加入手続きの支援を行った。

加入手続き件数	129件
加入人数	3,279名（延べ79,696名）

2. 子育て支援事業（復興支援事業） （1,061千円）

(1) おもちゃ広場

開催日 毎週月曜日から土曜日（祝祭日を除く）
 時間 10:00～15:00（最終受付14:30）
 会場 福島市保健福祉センター6階展望ロビー
 内容 室内に大型遊具等を設置し、子ども達に遊び場を提供した。
 また、随時イベントを実施した。

来場者数

月	子ども (人)	保護者 (人)	団体 (人)	ボランティア (人)	総計 (人)
4	1,197	1,034	0	11	2,242
5	1,046	987	0	11	2,044
6	1,622	1,517	0	12	3,151
7	1,497	1,288	0	5	2,790
8	1,809	1,487	0	10	3,306
9	1,487	1,376	0	10	2,873
10	1,098	1,019	11	7	2,135
11	1,145	1,034	0	10	2,189
12	1,013	903	0	5	1,921
1	1,133	1,065	18	8	2,224
2	1,235	1,162	21	9	2,427
3	1,906	1,573	0	8	3,487
年計	16,188	14,445	50	106	30,789
累計	76,676	66,289	119	787	143,871

(2) 親子ふれあい劇場

・1回目

期日 平成28年5月14日
 会場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 内容 エプロン上田氏による
 「エプロンシアター」「マジック」「絵本の読み聞かせ」
 来場者数 75名

・2回目

期日 平成28年10月22日
 会場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 内容 「小さなおよこ絵本館」による パネルシアター
 来場者数 81名

- ・ 3回目
 - 期 日 平成28年12月10日
 - 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 - 内 容 「人形劇場だぶだぶ」による 人形劇 他
 - 来場者数 124名
- ・ 4回目
 - 期 日 平成29年2月14日
 - 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 - 内 容 「編んでるシアター館」による 編んでるシアター 他
 - 来場者数 124名
- ・ 5回目
 - 期 日 平成29年2月28日
 - 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 - 内 容 「まほろばマジック研究会」による マジックショー 他
 - 来場者数 141名
- ・ 6回目
 - 期 日 平成29年3月11日
 - 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 - 内 容 個人ボランティアによる絵本の読み聞かせ 他
 - 来場者数 156名

3. 障がい児者の余暇活動支援事業 (916千円)

(1) 第42回おひさまといっしょに

(実行委員会構成：福島市手をつなぐ親の会、福島市肢体不自由児者親の会、福島市、福島市社会福祉協議会)

日頃家の中で過ごすことが多く、自然に親しむ機会の少ない障がい児を招待し、一日を明るい太陽と青空のもとで、障がい児、ボランティア、市民が一体となり楽しいレクリエーションを通じて、明日への希望と市民の福祉に対する理解を高めることを目的に開催した。

- 期 日 平成28年9月25日
- 会 場 福島市児童公園
- 内 容 レクリエーション (バルーンパフォーマンス、よさこい)
 (株)大道GATEプロダクション「マジカルバルルーン Yes」
 によるバルーンパフォーマンス
 (特非) うつくしまYOSAKOI 振興会による よさこい
 福島市児童公園の遊具乗り放題 (一部の乗り物を除く)
- 参加者数 305名 (うち ボランティア25名)

(2) 第41回障がい者スポーツ大会

(実行委員会構成：県北地区精神保健福祉会、福島市身体障がい者福祉協会、
福島市障害者スポーツ協会、福島市手をつなぐ親の会、
福島市、福島市社会福祉協議会)

障がい者がスポーツを通じ、健康の維持管理と社会参加の促進を図るとともに、相互親睦を深め自立更生に寄与し、市民の障がい者に対する理解を深めることを目的に開催した。

期 日 平成28年10月8日
会 場 福島市信夫ヶ丘競技場
参加者数 33団体 370名 (うち ボランティア 55名)

(3) 第45回障がい児クリスマス大会

(実行委員会構成：福島市手をつなぐ親の会、福島市肢体不自由児者親の会、
福島市、福島市社会福祉協議会)

日頃レクリエーションに親しむ機会の少ない障がい児を招待し、障がい児、ボランティア市民が一体となり、楽しいクリスマス大会を通じて、明日への希望と市民の福祉に対する理解を深めることを目的に開催した。

期 日 平成28年12月17日
会 場 福島市吾妻学習センター多目的ホール
内 容 福島音楽療法研究会「L a r g o」によるコンサート
福島大学チアダンス・ストリートダンス・混声合唱団による発表
参加者数 500名 (うち ボランティア43名)

(4) 障がい児餅つき大会

期 日 平成29年1月14日
会 場 エルティ ウェディング・パーティ エンポリウム
参加者数 124名 (うち ボランティア30名)

4. 地域ささえ合いネットワーク事業 【福島市受託事業】 (5, 235千円)

町内会等(サロン)単位に見守りネットワークを構築し、地域の中で見守りを要する高齢者世帯を訪問する等、見守り活動を実施した。

また、地域住民同士での見守り訪問を基盤として、町内会や民生委員、地域包括支援センター及び社会福祉協議会等の情報の共有及び連携・協力体制を構築していく。

さらには、見守り活動の導入として「住民の支え合いマップ」の作成を行う。

①モデル地区サロン

第四地区「つばきサロン」	第五地区「いきいきサロンやつるぎ」
蓬萊地区「桜台健康教室」	鎌田地区「マイタウンおやまごし」
松川地区「美郷ふれあいサロン」	

②事業実施内容

ア) 地域ささえ合いネットワーク研修会（地区協議会研修会）の開催（再掲）

期 日 平成28年7月27日
会 場 ウエディング エルティ
内 容 地区協議会活動発表
第三地区協議会、蓬莱協議会、清水協議会、飯野協議会
参加者数 103名

イ) アンケート調査の実施

サロン活動の有効性や参加者のニーズ、地域課題を把握し、今度の支援方法及び支援体制を強化することを目的にアンケート調査を実施した。

調 査 数 サロングループ 295箇所
回 収 率 68% (200箇所より回答)
回答者数 3,288名 (代表者200名、参加者3,088名)

ウ) 団体等支援

・訪問カフェ研究会

期 日 平成28年6月10日
会 場 働く婦人の家
対 象 者 会 員
内 容 講話「ふれあいサロン活動及び立ち上げについて」

・きらり健康生活協同組合

期 日 平成28年9月13日
会 場 須川診療所
対 象 者 役 員 等
内 容 講話「ふれあいサロン活動及び立ち上げについて」

・松川町美郷町内会

期 日 平成28年10月2日
会 場 松川町美郷地区内
対 象 地域住民等
内 容 認知症高齢者徘徊模擬訓練への参加

・きらら健康クラブ

期 日 平成28年11月18日
会 場 三河台学習センター
対 象 地域住民等
内 容 サロン化についての相談援助および地区協議会との連絡調整

・笹谷ベーテル

期 日 平成29年1月31日
会 場 ボランティアセンター
対 象 新規採用職員
内 容 サロン活動について（活動説明及び立ち上げ支援、視察仲介）

エ) 高齢者を支え合う地域づくり推進連絡会
(第1回)

期 日 平成28年12月22日

会場 福島市保健福祉センター3階日常生活訓練室
内容 ・高齢者を支え合う地域づくり講演会について
・高齢者を支え合う地域づくり推進連絡会の今後の方針について
・福島市内のサロン活動の現況について

(第2回)

期日 平成29年2月23日
会場 福島市公会堂
内容 ・高齢者を支え合う地域づくり講演会

オ) ふれあい・いきいきサロン交流会

期日 平成28年3月7日・17日
会場 福島市保健福祉センター5階大会議室
内容 ①地域ささえ合いネットワーク事業について
②情報交換会
③グループワーク
④レク体験

参加者数 モデルサロン及び市内各サロン活動者、行政職員 94名
(7日…50名、17日…44名)

カ) モデル地区サロン活動

地域に即した見守り活動実施計画の策定及び実施
住民ささえ合いマップづくり

キ) 地域ケア会議への参画

日時: 平成29年2月27日
会場: 湯野市民センター 1階ホール
内容: 事例「犬と暮らす近隣に物乞いをする独居男性への支援」検討
それぞれの事業所の役割の確認及びグループワーク

5. 福島市権利擁護センター運営事業 【福島市受託事業】 (5,000千円)

4月1日に福島市権利擁護センターを開所し、権利擁護に関する総合的かつ専門的な相談、成年後見制度に関する相談、支援体制や専門職とのネットワークの構築等を整備しながら事業を展開した。

(1) 事業実施内容

平成28年4月1日 権利擁護センター 開所
平成28年4月20日 権利擁護センター 開所式
平成28年8月8日 市民後見人候補者名簿引き継ぎ式

(2) 相談業務

相談対応件数(延べ件数) 453件
相談時間 302時間5分

(3) 市民後見人バンクの設置

市民後見人の支援体制確立のため、市民後見人バンクを設置。

これまでに福島市が養成した市民後見人養成講座修了者33名のうち、32名の養成講座修了者が市民後見人バンクへ登録する。

(4) 市民後見人候補者（バンク登録者）研修会の実施

・第1回

期 日 平成28年11月18日・28日・12月5日
 会 場 福島市保健福祉センター4階第一保健指導室
 参加者数 15名

期日	科 目	時間	内 容	講師 等
11月18日 (金)	開講式	10:00 ～10:30	開講挨拶 オリエンテーション	福島市長寿福祉課 事務局
	成年後見制度概論	10:30 ～12:00	成年後見制度について（復習）	福島家庭裁判所 書記官 三上真知子 氏
	認知症高齢者の理解	13:00 ～14:30	認知症高齢者への接し方・現況について	あずま通りクリニック 保健師 伊藤麻樹子 氏
	障がい者の理解	14:40 ～16:10	精神障がい者との接し方・現況について	相談支援事業所ひびき 所長 本田祐史氏
11月28日 (月)	社会資源	10:00 ～11:00	福祉サービスと社会資源（相談機関等） について	福島県社会福祉士会 齋藤圭太 氏
	消費者保護	11:10 ～12:10	消費者被害の実情と被害の予防について	福島市消費者生活センター 副主査 菊池智博 氏
	関係諸制度	13:00 ～14:30	最近の法律をを踏まえた上での後見制度の事例	司法書士 芳賀 裕 氏
	後見業務	14:40 ～16:10	成年後見人の財産管理 ～知識と実務～	司法書士 芳賀 裕 氏
12月5日 (月)	地域福祉・権利擁護の理念	10:00 ～11:00	日常生活自立支援事業（あんしんサポート）と成年後見制度との関係について	福島県社会福祉協議会 主任主査 斉藤知道 氏
	後見実施機関の実務	11:10 ～12:10	後見人としての実践活動について	福島県社会福祉士会 谷川ひとみ 氏
	グループワーク	13:00 ～15:00	後見業務における事例を通しての実務体験	福島県社会福祉士会 谷川ひとみ 氏
	まとめ	15:10 ～16:10	レポート提出 終了後の活動について	事務局

・第2回

期 日 : 平成29年2月28日

会 場 : 福島市保健福祉センター4階第一保健指導室

参加者数 : 26名

講 師 : 福島県弁護士会会員 弁護士 榎 裕康 氏

内 容 : 成年後見人の実務(審判前の保全処分及び後見人としての実践活動)

(5) PR活動等

①「県北あんしんネット」定例会への参加

期 日 : 毎月第3木曜日

参加者 : 弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、地域包括支援センター、介護支援専門員、学識経験者 等

内 容 : 事例検討会、関係機関とのネットワーク作り

②各地域包括支援センター等関係機関へのPR活動

期 日 : 随時

内 容 : 権利擁護センターの紹介等

③出前講座の実施

ア) 北信西地域包括支援センター管内介護支援専門員連絡会

期 日 : 平成28年8月5日

対 象 者 : 介護支援専門員 等

内 容 : 講話「成年後見制度について」

イ) 福島県MSW協会県北方部

期 日 : 平成28年9月16日

対 象 者 : 福島県MSW協会県北方部会員(医療ソーシャルワーカー)

内 容 : 講話「成年後見制度について」

ウ) 福島市地域包括支援センター連絡協議会社会福祉士部会

期 日 : 平成28年12月20日

対 象 者 : 福島市内地域包括支援センター職員

内 容 : 権利擁護センターの業務内容について

エ) わたり病院 合同リハ学習会

期 日 : 平成29年2月5日

対 象 者 : わたり病院職員

内 容 : 成年後見制度について

6. 日常生活自立支援事業（「あんしんサポート」）【福島県社協受託事業】（6,515千円）
 認知症高齢者等、判断能力の不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを提供し支援を行った。

【契約者数（利用者数）】

障害類型	認知高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
契約者数	28	7	11	6	52

新規契約者数 8件（延べ 164件）
 解約者数 6件（延べ 112件）
 相談援助件数（延べ件数） 2,886件
 相談時間 2,613時間30分

7. 福祉教育推進事業（247千円）

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施

福島市内の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒に対し、社会福祉への理解と関心を高め、社会福祉奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭や地域社会の啓発を図ることを目的に、「ボランティア協力校」8校を指定した（助成金交付）。

【ボランティア協力校（指定校）】

福島市立福島第一小学校	福島市立福島第三小学校
福島市立南向台小学校	福島市立飯坂小学校
福島市立中野小学校	福島市立大森小学校
福島市立水保小学校	福島市立福島第四中学校

(2) 福祉教育等学習支援

将来の地域を担う子どもたちの成長の一助となるよう、学校でのボランティア・地域活動や総合学習の時間への支援（体験や講話など）を行った。

また、企業や地域団体等が行う福祉講座等（社会貢献活動）への支援を行った。

学校名	学年	期 日	人数	内容及び目的
福島大学 附属中学校	3学年	H28. 5. 11 H28. 5. 24 H28. 5. 27 H28. 6. 1	141	<p>【高齢者擬似体験】 高齢者の心を推察する。（心理状態を推察し、高齢者を理解したり、気持ちをくみ取ったりする。） 介助者の役割を理解する。（どのようにサポートすることが適切なのか、自分なりの行動を見付け、考えるきっかけとする。）</p>

学校名	学年	期 日	人数	内容及び目的
杉妻小学校	5 学年	H28. 6. 3 H28. 6. 15 H28. 7. 1 H28. 7. 5	122	<p>【高齢者疑似体験】</p> <p>総合的な学習の時間において、「福祉・ボランティア」をテーマに学習を行っており、それに関する体験活動の一つとして、高齢者疑似体験を行う。体験を通し共感的理解をさせるとともに、福祉の関心や学習意欲・課題意識を高めたい。</p>
岡山小学校	5 学年	H28. 6. 6 H28. 6. 8 H28. 6. 13	74	<p>【高齢者疑似体験】</p> <p>高齢者疑似体験を通して、高齢者の体の感じ方を理解し、今後自分がどのように接してはいけばいいのかを考える。</p>
大森小学校	5 学年	H28. 6. 17 H28. 6. 20 H28. 6. 23 H28. 6. 27 H28. 6. 29	149	<p>【高齢者疑似体験】</p> <p>総合的な学習の時間のボランティア学習の一環として、高齢者の方々との交流を計画しているが、その前に高齢者疑似体験を行うことにより、高齢者への理解を深めたい。</p>
大鳥中学校	3 学年	H28. 7. 5 H28. 7. 7 H28. 7. 14 H28. 7. 19	55	<p>【福祉講話・高齢者疑似体験・下肢障がい の理解】</p> <p>福祉に対する興味・関心を高め、差別や偏見のない人権に根ざす共生と平等の考え方を理解させ、思いやりの心を育てる。</p> <p>学習内容を将来の自己の進路決定に役立てる。</p>
信夫中学校	1 学年	H28. 7. 11	60	<p>【高齢者疑似体験・下肢障がいの理解】</p> <p>福祉関係の体験活動を通して、高齢者や障がい者の方々の理解を深め、様々な人と共に生活していく大切さを学ぶ。</p>
飯野中学校	1 学年	H28. 9. 15 H28. 9. 16 H28. 9. 21 H28. 9. 26	55	<p>【福祉講話・高齢者疑似体験・下肢障がい の理解】</p> <p>福祉に関する話を聞いたり、体験したりすることによって、自分や他の人の「しあわせ」や「生き方」について考え、様々な人と共に生活していく大切さを実感し、「福祉のまちづくり」の実践力を身につける。</p>

学校名	学年	期 日	人数	内容及び目的
南向台小学校	5 学年	H28. 9. 27 H28. 10. 14 H28. 10. 21	23	<p>【高齢者擬似体験・下肢障がいの理解・視覚障がいの理解】</p> <p>南向台地区の高齢者の方たちとの「ふれあい集会」に向け、高齢者に対する理解を深めるために、擬似体験等を通し体の特徴（体が思い通りに動かない、全身が重く、動作が遅くなってしまうなど）を知ることができるようにする。</p>
北沢又小学校	5 学年	H28. 11. 16 H28. 11. 18 H28. 11. 22	73	<p>【高齢者の理解】</p> <p>高齢者擬似体験を通して、高齢者の身体の不自由さを理解し、共に生きることの大切さを考えるきっかけにできるようにする。</p>
御山小学校	6 学年	H28. 11. 25 H28. 11. 29	55	<p>【高齢者擬似体験・下肢障がいの理解】</p> <p>高齢者擬似体験や車椅子体験を通して、それぞれの立場の人々の気持ちや日々の生活の様子を推察できるようにすると共に、自分たちにできることは何かを考え、実行しようとする気持ちを育てる。</p>
清水小学校	6 学年	H29. 1. 16 H29. 1. 18 H29. 1. 20	69	<p>【高齢者擬似体験】</p> <p>高齢者擬似体験を通して、加齢による身体的変化を学び、高齢者の気持ちやかかわり方、コミュニケーションの取り方などを体験的に学習する。</p>
福島看護専門学校	1 学年	H29. 1. 23	43	<p>【高齢者擬似体験】</p> <p>高齢者の身体機能の変化を知り、その変化が日常生活にどのように影響しているかを学ぶ。</p> <p>加齢に伴う身体機能の変化を考慮し、環境調整や援助の方法を考える。</p> <p>外観の変化からのボディイメージの変化を体験し、高齢者の身だしなみを考える。</p>

企業・団体名	対象者	期 日	人数	内容及び目的
よしいだ女性アカデミー	市民	H28. 7. 8 H28. 8. 5 H28. 9. 9 H28. 10. 14	12	【福祉講話・演習】 「ボランティアの概論」 「地域課題とは」 「企画立案について」 他
上松川ボランティアほのおの会	会員	H28. 7. 31	33	【福祉講話】 「ボランティアについて」
そうごう薬局	職員	H28. 12. 4	22	【下肢障がい・視覚障がいの理解】 体験を通して、車いすを使用する人や目の不自由な人に対する接し方など正しい理解を深め、実務に生かす。また、地域住民の一員として、高齢者や障がいを抱える人の気持ちに寄り添えるようになる。
J R 東日本 仙台支社福島総合運輸区	職員	H28. 3. 17	8	【高齢者疑似体験】 体験を自ら体験をすることによって、今後のサービス向上と鉄道企業顧客満足度No. 1を目指す。

8. ボランティアセンター運営事業 (3, 849千円)

(1) ボランティア等相談業務

ボランティアに関する活動相談、派遣依頼相談、それに伴うコーディネート業務、及びボランティア活動保険等の加入手続きを行った。

相談対応件数 1, 348件

ボランティア活動保険等加入手続き件数(延べ件数) 505件

(内訳)

ボランティア活動保険 402件

個人 118件

団体 284件(5, 544名)

ボランティア行事用保険 84件

福祉サービス総合補償 14件

送迎サービス補償 5件

(2) ボランティア活動保険助成事業

福島市内居住で、ボランティア活動保険に加入した者に対し、1人100円の助成を行った。

助成合計金額 391, 000円

(3) 第29回「ふれあい広場」の開催

地域に根ざした福祉活動の推進に向け、市民の福祉に対する理解と協力をいただくことを目的に開催した。

期 日 平成28年11月3日(木・祝)

会 場 J R 福島駅前通り

内 容 障がい者施設製品展示即売
福祉体験コーナー 盲導犬（PR犬）による実演
点字しおり等作成ボランティア相談コーナー
赤い羽根共同募金街頭募金 他

（４）ボランティア養成講座の開催

①救命講座

ふれあいサロン活動中に、突然ケガや病気と遭遇するかは予測できない。また訪問しケガ人や急病人を発見した際、医師や救急隊に引き継ぐまでの正しい知識と技術を学ぶことで、適切な救命処置・応急処置が期待できることから、救命に関する知識と技術の向上を目的に開催した。

期 日 平成28年6月14日・20日
会 場 福島市保健福祉センター3階小会議室および3階和室会議室
内 容 ■講 義 病気の予防と対処法～夏期間の病気の対策について～
講 師 福島市中央地域包括支援センター
保健師 秋山彩子

■普通救命講習

（心肺蘇生法・AED使用法・気道異物の除去・止血法）

講 師 福島消防署 救急係

参加者数 15名

②サマーショートボランティアスクール

市内の学校に在学中の生徒・学生及び社会人等を対象に、夏休みを中心とした一定期間にボランティア活動を体験し、自分たちが住んでいる地域社会の福祉課題や福祉の現状を理解していただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進しボランティア活動の振興を図ることを目的に実施した。

開 催 日 平成28年7月18日～平成28年8月21日
参加者数 26名（延べ 33名）
受入施設 14施設

③視覚障がい者の手引き講習会

視覚障がい者が外出する際の基本的な手引きの方法を学び、実践することにより、広く障がい者への理解を深めることを目的に、ボランティアグループ「手引きサークル「歩み」」と共催により開催した。

開 催 日 平成28年10月18日・25日
会 場 福島市保健福祉センター4階第一保健指導室 他
内 容 ①視覚障がい者のお話し、手引きの基本について、手引き体験
②街歩き、電車・バスの乗降 等
参加者数 2名

④男性のための料理講座

男性のボランティア活動参加を推進するため、中高年齢層の男性を対象に養成講座を開催し、栄養や調理方法の基礎知識等を学習するとともに、地域福祉活動に活かすことを目的に開催した。

期 日 平成28年11月1日・8日・17日・24日

会 場 福島市保健福祉センター4階調理実習室
 内 容 栄養講座及び調理実習
 講師 在宅栄養士 富田 伊都子 氏
 参加者数 20名

⑤男性のための料理講座（フォローアップ研修）

男性のための料理講座受講生が受講での経験を活かし、地域でのボランティア活動または福祉活動の展開へつなげていけるよう開催した。また、フォローアップ研修を通して、調理ボランティアが立ち上がった。

期 日 平成29年 1月14日
 会 場 ウエディングエルティ
 内 容 平成28年度障がい児交流事業「もちつき大会」における調理ボランティア
 参加者数 11名
 対象者数 124名

⑥傾聴ボランティア講座

相手の気持ちに寄り添って話しを聞く「傾聴ボランティア」を養成するため開催した。講座終了後には、昨年立ち上がった傾聴ボランティア団体に入会するなど、その後の活動も行っている。

参加者数 19名

期 日 ・ 会 場	内 容
期 日： 平成28年11月17日 会 場： 福島市保健福祉センター3階小会議室	●オリエンテーション ボランティアとは ●傾聴って何？ ～よい聞き手となるために傾聴の意味と意義～ 講 師 福島学院大学福祉学部福祉心理学科 臨床心理士 佐藤 佑貴 氏
期 日： 平成28年11月22日 会 場： 福島市保健福祉センター3階小会議室	●傾聴の方法と技術 ～事例から傾聴を学ぶ～ 講 師 福島市中央包括支援センター 社会福祉士 本田 祐一 ●傾聴ボランティア活動実践者からの体験談 発表者 個人ボランティア 鈴木 洋子 氏 傾聴ボランティアほほえみ 代 表 五十嵐 一男 氏
平成28年11月23日 ～平成28年12月6日	●市内施設でのボランティア活動 施設での傾聴ボランティア体験
期 日： 平成28年12月7日 会 場： 福島市保健福祉センター3階小会議室	●ボランティア活動を体験しての振り返り 講 師 福島学院大学福祉学部福祉心理学科 臨床心理士 佐藤 佑貴 氏

⑦レクリエーションボランティア養成講座

近年、ふれあいいいきサロンが増加する一方で、活動内容のマンネリ化に悩みを抱えるサロンも多くなってきている。また、若年世代がボランティアを行いたくてもどこでどのような活動を行ってよいか分からない等の声も多く聞かれる。

このようなことから、今後の地域活動に活かせるレクリエーション技術と知識を習得し、ふれあいいいきサロン活動や地域活動の充実、若年世代のボランティアを養成することを目的に開催した。

期 日	平成29年 1 月 1 1 日
会 場	福島市保健福祉センター5階大会議室
内 容	①講 義 「ボランティアの心得」 講 師 本会ボランティアセンター
	②実 技 「バルーンアート」 講 師 (株) 大道GATEプロダクション
参加者数	20名

9. 生活福祉資金貸付・相談及び生活援助資金の貸付 (4,719千円)

低所得世帯の自立更生のため、民生児童委員の協力により生活福祉資金の貸付等相談及び生活援助資金の貸付を行った。

(1) 貸付等相談業務

相談対応件数 (延べ件数)	1,409件
相談時間	475時間10分
(1件当たり 平均相談時間)	約20分
相談時間1時間以上	97件
相談時間2時間以上	19件

(2) 貸付の状況

①生活福祉資金【福島県社協受託事業】

貸付決定件数	33件
貸付決定金額	10,066,358円 (貸付利子 46,758円含む)

②生活援助資金

貸付件数	56件
貸付金額	1,422,000円

10. 民生児童委員活動の支援 (3,764千円)

福島市民生児童委員協議会活動を支援するため、助成金を交付した。(500千円)

また、福島市民生児童委員協議会の事務局として、各種事業および各部会活動など、民生委員・児童委員活動の支援を行った。

(1) 第67回森のつどい

期 日	平成28年8月9日
場 所	仙台市方面 (武田の笹かまぼこ・仙台うみの杜水族館)
参加者数	39名 (児童25名、民生児童委員・主任児童委員等14名)

(2) 福島市民生委員・児童委員研修会

期 日 平成29年3月1日

会 場 福島テルサ

参加者数 412名

内 容 講演

テーマ 『むずかしい子どもへのペアレント・トレーニング』

講 師 福島大学大学院 人間発達文化研究科 特任教授

福島県臨床心理士会会長 安部 郁子氏

1.1. 視察等の受入れ

①会津若松市東山地区民生児童委員協議会

期 日 平成28年6月28日

内 容 地区協議会活動について

■総務課 生活復興支援室

1. 東日本大震災に伴う避難者支援 (26,189千円)

- ・生活支援相談員8名(県社協からの受託事業)を配置し、本市内への避難者に対し生活支援並びに避難元社会福祉協議会の支援を行った。

相談・対応件数 6,695件

相談・対応時間 5,089時間40分

(1件当たり相談・対応時間約50分)

(1) 福島市内への避難者支援

ア. ホットサロン「てとて」の開催 (5,003千円)

- ・福島市内のみなし仮設住宅(民間借り上げ住宅)等で避難生活を送る方へ憩いの場を提供し、住民同士の交流や情報交換、仲間づくり、避難者への生活相談支援を目的に開催した。

開催日

平成28年 4月 6日・4月20日・5月11日・5月25日
6月 8日・6月22日・7月13日・7月27日
8月10日・8月24日・9月 7日・9月21日
10月 5日・10月26日・11月 9日・11月22日
12月14日・12月28日・1月11日・1月25日
2月 8日・2月22日・3月 8日・3月 2

日延べ参加人数 1,290名

イ. ホットサロン「てとて」リフレッシュツアーの開催 (6,799千円)

- ・福島市内のみなし仮設住宅(民間借り上げ住宅)等で避難生活を送る住民同士の交流や情報交換、仲間づくり及び心身のリフレッシュを図ることを目的に開催した。

①	期日	平成28年 6月 6日		
	内容	フルーツ狩り(さくらんぼ)、飯坂温泉	参加者数	35名
②	期日	平成28年 6月14日		
	内容	フルーツ狩り(さくらんぼ)、飯坂温泉	参加者数	41名
③	期日	平成28年 7月 7日		
	内容	じょーもびあ宮畑、飯坂温泉	参加者数	36名
④	期日	平成28年 7月14日		
	内容	民家園、高湯温泉	参加者数	29名
⑤	期日	平成28年 8月 8日		
	内容	四季の里	参加者数	15名
⑥	期日	平成28年 8月23日		
	内容	四季の里	参加者数	25名
⑦	期日	平成28年 9月12日		

内 容 ぶどう狩り

参加者数 29名

⑧	期 内	日 容	平成28年9月20日 ぶどう狩り	参加者数	29名
⑨	期 内	日 容	平成28年9月26日 旧堀切邸	参加者数	15名
⑩	期 内	日 容	平成28年10月3日 四季の里(マドラー作り)	参加者数	28名
⑪	期 内	日 容	平成28年10月11日 会津方面(赤ベコ絵付け体験)	参加者数	32名
⑫	期 内	日 容	平成28年10月27日 会津方面(赤ベコ絵付け体験)	参加者数	23名
⑬	期 内	日 容	平成28年11月10日 いわき方面(かまぼこ作り体験)	参加者数	35名
⑭	期 内	日 容	平成28年11月17日 いわき方面(かまぼこ作り体験)	参加者数	24名
⑮	期 内	日 容	平成28年12月1日 いわき方面	参加者数	37名
⑯	期 内	日 容	平成28年12月8日 いわき方面	参加者数	26名
⑰	期 内	日 容	平成29年2月9日 ヤクルト工場・テレビ局見学	参加者数	33名
⑱	期 内	日 容	平成29年2月10日 ヤクルト工場・テレビ局見学	参加者数	30名

開催回数合計 18回 参加延べ人数 523名

(2) 応急仮設住宅等入居者支援

- ・福島市内に設置された応急仮設住宅及びみなし仮設住宅等で避難生活を送る世帯へ、避難元社会福祉協議会職員等に同行訪問または独自訪問を行い、生活相談に応じた。

訪問件数 6,958件
(内訳) 相談・見守り等 92件
様子伺い 4,169件
留守 2,697件

■ 総務課 指定相談支援事業所

1. 市町村障がい者相談支援事業【福島市受託事業】 (11,459千円)

- 在宅障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、各種支援を行った。

- 生活相談支援
- ピアカウンセリング等の支援
- 福祉サービス利用援助及び情報提供
- 障害支援区分認定調査
- 計画相談支援

実施状況は次のとおりである。

1 相談支援を利用した障害者等の人数

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	147	145	2	1	1	0	0	0
障害児	1	1	0	0	0	0	0	0
計	148	146	2	1	1	0	0	0

2 支援方法

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子メール (5)	個別支援会議 (6)	ピアカウンセリング (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	157	16	1	71	4	2	7	0	258

3 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援 (1)	障害や病状の理解に関する支援 (2)	健康・医療に関する支援 (3)	不安の解消・情緒安定に関する支援 (4)	保育・教育に関する支援 (5)	家族関係・人間関係に関する支援 (6)	家計・経済に関する支援 (7)	生活技術に関する支援 (8)	就労に関する支援 (9)
件数	230	1	2	25	0	1	1	5	7

	社会参加・余暇活動に関する支援 (10)	権利擁護に関する支援 (11)	その他 (12)	計 (13)
件数	10	0	114	396

4 連絡調整

	サービス事業所 (1)	就労関係 (2)	他相談支援事業所 (3)	地域包括ケアマネ (4)	医療機関 訪問看護 (5)	民生委員 (6)	行政機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	157	0	4	18	14	0	26	0	219

5 障害支援区分認定調査

	計
件数	114件

6 計画相談支援

	福島市	桑折町	計
件数	15件	1件	16件

平成28年度 在宅福祉サービスセンター事業報告

在宅福祉サービスセンターでは、在宅の高齢者や障がい者に対し相談援助や利用者のニーズに即した介護サービスの提供に努めた。

また、介護保険事業の介護職員処遇改善加算の制度を活用し、介護職に従事する専門職員及び非常勤職員の賃金改善を目的として処遇改善手当を支給することと併せ、居宅介護支援事業所においても新たに特定事業所加算の制度を活用し、介護支援専門員に対して処遇改善手当を支給するなど、職員の処遇改善を行った。

介護保険事業所の経営は、平成27年の介護報酬の減額改定、市内の介護事業所の増加や利用者の長期入院・入所などによるサービス提供量の減少等で大変厳しい状況にあることから、収入増を図るため、居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所では28年度中に特定事業所加算申請を行い、居宅介護支援事業所では12月分より加算が認められた。（訪問介護事業所は29年4月分から加算予定）平成30年には介護報酬の見直しもあることから、職員一人ひとりが現在の状況に危機感をもって業務にあたることはもとより、積極的なPR活動を行うなどして利用者増に努めるとともに、効率的な業務の取り組み、研修等参加による職員の資質向上やサービス向上に努める必要がある。

【成果と課題】

1. ホームヘルプサービスセンター

実利用者数月平均255名、延べ件数37,255件（昨年実績264名、延べ件数40,762件）の実績であった。

介護職員数が年々少なくなっているため、介護職員の採用に努め利用者数の増強を図る。

2. 中央デイサービスセンター

一般型は実利用者数月平均約71名、延べ利用者数5,995名の実績で、昨年度の延べ利用者数6,359名と比べ364名の減少となり、稼働率も65.1%で前年比3.5%減となった。

認知症型は実利用者数月平均19名、延べ利用者1,546名の実績で、昨年度の1,565名とほぼ同じ水準だったが、稼働率は41.9%で前年比0.3%の減であった。

一般型は年明けから、認知症型は年度後半から稼働が下回る傾向が続いた。週に複数回来所される利用者が、入院や施設入所などで解約となり、延べ数が減ったことが大きい。また新規の利用者も、しばらくするとショートステイなど宿泊の利用が増え、デイの延べ数減少に繋がっている。

解約や延べ数減少を上回る新規利用者獲得を目指し、新年度はさらに積極的に、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターを訪問し利用者の紹介を働きかけていく。また、認知症型の周知も図っていく。

3. 飯野デイサービスセンター

実利用者数月平均70名、年間延べ利用者数6,157名の実績で、昨年度の延べ利用者数6,539名と比べ382名の減となった。

また、一日あたりの平均利用者数は前年度の21人から20人に減少し、定員に対する稼働率は84.6%から79.9%となり、前年度と比較し約5%減少した。

近隣の居宅介護支援事業所に対する積極的なPR活動や立子山・飯野地域包括支援センターとの連絡を図りながら新規利用者の受け入れに努めるとともに、今後も、新規事業を含めた多彩な年間行事を実施して、「心地よいサービス」の提供を継続していく。

4. 居宅介護支援事業所

介護支援専門員 9 名体制で、延べ 3, 744 件のケアプランを作成。88 件の新規ケースの受け入れを行った。

1 2 月からは 24 時間相談体制や職員間の情報共有などの体制を整え特定事業所加算Ⅱを算定し収入の増加を図る努力を行った。今後も、各地域包括支援センターや医療機関との連携を密にするとともに、研修参加等により、介護支援専門員のスキルアップに努める必要がある。

5. 中央地域包括支援センター

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについて職員 4 人体制で 1,280 件、居宅への委託は 914 件、合計 2194 件のプランを作成し、在宅支援を行った。

いきいきももりん体操は第 2 地区で 1 グループの申し込みがあり、立ち上げ支援や体力測定等を行った。また、サロンや町会からの依頼により介護予防に関する講話や認知症サポーター養成講座を開催して啓発活動を行った。

地域ケア会議については、個別ケア会議を開催。合計 3 回の開催で、個別ケースをとおしての地域課題の発掘に努めた。また、虐待事例については 6 件あり、長寿支援係と連携をはかり対応を行った。

今後も民生委員を中心に地域との関係性を密にし、住民がより安全に安心して生活ができるよう、地域の総合相談窓口としての機能を充実させていく。

6. 立子山・飯野地域包括支援センター

「地域づくりによる介護予防推進事業（ももりん体操）」は、7 団体（飯野 5 団体、立子山 2 団体）の立ち上げ支援を行った。さらに、市主催の体験講座や包括主催で「体験会&交流会」を開催し、この体操の趣旨や内容の周知に努めた。

認知症予防のための「いきいき脳力アップ講座」や小学校での「認知症サポーター養成講座」の実施、介護予防教室等の開催は合計 104 回を数えた。

地域ケア個別会議については、準備会議を 2 回、個別会議を 2 回行った。

総合事業に関しては、事業対象者と要支援者のケアプランを作成する介護予防支援及び介護予防マネジメントは 754 件となった。

今後は、H29 年度に地域支え合い推進員の配置、H30 年度には認知症地域支援推進員の配置が予定されており、法人や市長寿福祉課に加え、社協飯野協議会や民協、いきいきももりん体操グループなど地域の関係団体との協議を進めていくとともに、飯野支所や飯野学習センターなどと情報を共有しながら、地域包括ケアシステムの構築を目指した地域づくりに取り組んでいく。

在宅福祉サービスセンター(介護保険事業)

■ホームヘルプサービスセンター

(収入 119,476千円 支出 113,644千円)

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介助、その他生活全般にわたる援助を行った。

1. 訪問介護事業(介護予防訪問介護事業・総合事業を含む)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	3,174	3,197	3,145	3,074	3,200	3,168	3,181	3,121	3,160	2,869	2,803	3,163	37,255
実利用者合計	259	256	252	251	258	262	260	253	252	256	250	254	月平均 255.3
1人当たり平均利用回数	12.3	12.5	12.5	12.2	12.4	12.1	12.2	12.3	12.5	11.2	11.2	12.5	月平均 12.2
稼働日数	31	30	31	31	31	31	30	31	31	28	28	31	364.0
一日あたり	102	107	101	99	103	102	106	101	102	102	100	102	月平均 102.4
契約者数	279	275	278	281	284	289	285	281	273	279	279	275	279.8
職員数 常勤	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	月平均 12.0
職員数 非常勤	55	56	56	55	53	54	54	54	53	55	53	55	月平均 54.4
合計	67	68	68	67	65	66	66	66	65	67	65	67	月平均 66.4
ヘルパー1人当たり稼働件数	47.4	47.0	46.3	45.9	49.2	48.0	48.2	47.3	48.6	42.8	43.1	47.2	月平均 46.8

■福島市中央デイサービスセンター

(収入 70,208千円 支出 70,673千円)

利用者の閉じこもりの予防及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の援助や介護、機能訓練等を行った。また、障がい者の自立促進、生活の質の向上、身体機能の維持向上等を図ることができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護や、その他必要な援助を行った。

(収入 47,727千円 支出 50,279千円)

1. 通所介護事業(介護予防通所介護事業・総合事業を含む)(一般型:定員30名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	490	505	520	504	540	515	536	523	501	452	422	487	5,995
実利用人数	72	75	73	75	67	72	70	70	70	70	65	63	月平均 70.2
1人あたり月平均利用回数	6.8	6.7	7.1	6.7	8.1	7.2	7.7	7.5	7.2	6.5	6.5	7.7	月平均 7.1
契約者数	81	83	81	80	81	84	81	80	78	80	81	81	月平均 80.9
稼働日数	26	26	26	25	27	26	26	26	24	24	24	27	307
1日あたり利用者	18.8	19.4	20.0	20.2	20.0	19.8	20.6	20.1	20.9	18.8	17.6	18.0	月平均 19.5
稼働率	62.8%	64.7%	66.7%	67.2%	66.7%	66.0%	68.7%	67.1%	69.6%	62.8%	58.6%	60.1%	月平均 65.1%

2. 地域密着型通所介護事業(認知症型:定員12名)

(収入 20,273千円 支出 18,918千円)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	150	154	155	148	149	131	128	122	114	88	101	106	1,546
実利用人数	19	20	20	21	21	20	19	19	18	17	16	16	月平均 18.8
1人あたり月平均利用回数	7.9	7.7	7.8	7.0	7.1	6.6	6.7	6.4	6.3	5.2	6.3	6.6	月平均 6.8
契約者数	22	23	22	22	22	21	21	21	23	19	18	18	月平均 21.0
稼働日数	26	26	26	25	27	26	26	26	24	24	24	27	307
1日あたり利用者	5.8	5.9	6.0	5.9	5.5	5.0	4.9	4.7	4.8	3.7	4.2	3.9	月平均 5.0
稼働率	48.1%	49.4%	49.7%	49.3%	46.0%	42.0%	41.0%	39.1%	39.6%	30.6%	35.1%	32.7%	月平均 41.9%

3. 障害者デイサービス事業

(収入 2,208千円 支出 1,476千円)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用回数	18	26	26	24	27	23	26	24	28	24	22	22	290
実利用者数	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	月平均 3.4
1人あたり月平均利用回数(回)	4.5	6.5	6.5	6.0	6.8	7.7	8.7	8.0	9.3	8.0	7.3	7.3	月平均 7.2
契約者数	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	月平均 3.4
実施日数(日)	26	26	26	25	27	26	26	26	24	24	24	27	307
1日あたり利用者数	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	0.9	1.2	1.0	0.9	0.8	月平均 0.9

(参考)中央デイサービスセンター全体(介護保険+障害デイ)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	658	685	701	676	716	669	690	669	643	564	545	615	7,831
実利用人数	95	99	97	100	92	95	92	92	91	90	84	82	月平均 92.4
1人あたり月平均利用回数	6.9	6.9	7.2	6.8	7.8	7.0	7.5	7.3	7.1	6.3	6.5	7.5	月平均 7.1
契約者数	107	110	107	106	107	108	105	104	104	102	102	102	月平均 105.3
稼働日数	26	26	26	25	27	26	26	26	24	24	24	27	307
1日あたり利用者数	25.3	26.3	27.0	27.0	26.5	25.7	26.5	25.7	26.8	23.5	22.7	22.8	月平均 25.5
稼働率(%)	60.3%	62.7%	64.2%	64.4%	63.1%	61.3%	63.2%	61.3%	63.8%	56.0%	54.1%	54.2%	月平均 60.7%

4. 指定管理事業

福島市指定管理者制度により協定を締結し、「福島市中央デイサービスセンター」の指定管理者として、施設の維持管理に関する業務を行った。

- ①給排水衛生設備 ②電気・ガス・空調設備一式 ③備品一式

■福島市飯野デイサービスセンター

(収入 51,354千円 支出 51,121千円)

利用者の閉じこもりの予防及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の援助や介護、機能訓練等を行った。

1. 通所介護事業(一般型:定員25名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	570	532	521	522	538	540	533	493	466	464	455	523	6,157
実利用人数	77	76	69	67	68	70	68	68	68	70	70	71	月平均 70.2
1人あたり月平均利用回	7.4	7.0	7.6	7.8	7.9	7.7	7.8	7.3	6.9	6.6	6.5	7.4	月平均 7.3
契約者数	84	82	79	79	80	81	80	80	79	79	79	79	月平均 80.1
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
1日あたり利用者数	21.9	20.5	20.0	20.1	19.9	20.8	20.5	19.0	19.4	19.3	19.0	19.4	月平均 20.0
稼働率	87.7%	81.8%	80.2%	80.3%	79.7%	83.1%	82.0%	75.8%	77.7%	77.3%	75.8%	77.5%	月平均 79.9%

2. 指定管理事業

福島市指定管理者制度により協定を締結し、「福島市飯野デイサービスセンター」の指定管理者として、施設の維持管理に関する業務を行った。

①給排水衛生設備 ②電気・ガス・空調設備一式 ③備品一式

■居宅介護支援事業所

(収入 46,098千円 支出 42,044千円)

利用者の心身状況、その他置かれている環境に応じて利用者の選択のに基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプランの作成を行った。

1. 居宅介護支援事業(介護予防支援事業を含む)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	320	323	316	320	307	310	312	313	311	306	295	311	月平均 312
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243
契約者数	365	369	369	369	366	370	375	377	374	376	373	375	月平均 371.5
職員数	11	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	月平均 9.4
受持ち率(%)	74.5%	82.8%	81.0%	82.5%	87.4%	88.3%	88.8%	89.1%	88.6%	87.1%	84.0%	88.6%	月平均 85.2%

2. 要介護認定調査(市受託事業)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	10	11	12	10	10	11	12	12	11	15	10	月平均 11.2

■中央地域包括支援センター(担当圏域内 : 第1・第2・第4方部)

(収入 25,622千円 支出 26,250千円)

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種を配置して、市民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行った。主な業務は、介護予防事業及び包括的支援事業(①介護予防ケアマネジメント業務、②総合相談・支援業務、③権利擁護業務、④包括的・継続的ケアマネジメント事業)で、行政や民生委員、関係機関との連携を構築して実施した。

1. 要支援1・2の認定者の状況把握数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2把握人数	23	24	24	30	28	19	20	41	26	34	13	17	299

2. 介護予防サービス計画の作成件数 (職員数は実勤務人数)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数(a)	94	118	129	110	110	106	106	101	105	103	98	100	1,280
委託件数	81	69	66	79	82	80	80	80	79	72	71	75	914
合計	175	187	195	189	192	186	186	181	184	175	169	175	2,194
包括職員数(b)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	月平均 4.0
一人当たりの担当件数(a)／(b)	23.5	29.5	32.3	27.5	27.5	26.5	26.5	25.3	26.2	25.7	24.5	25.0	月平均 26.7

3. その他事業

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防教室開催回数	2	2	5	4	2	1	4	5	2	1	2	2	32
介護予防プラン作成件数	0	0		0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
来所者数	8	16	6	16	6	7	2	10	6	2	8	6	93
電話相談	104	75	39	104	83	67	46	67	53	64	65	54	821
訪問	115	74	76	79	82	83	60	113	70	65	104	96	1,017

○業務委託居宅介護支援事業所

福島市社会福祉協議会	アグリホーム指定居宅介護支援事業所	「聖・オリーブの郷」居宅介護支援センター
よろこび介護支援センター	ファミリーケア指定居宅介護支援事業所	こしのはま居宅介護支援センター
あいの風 居宅介護支援事業所	ケアプランセンター小倉寺	ウインスリーひかり 居宅介護支援事業所
居宅介護支援事業所 絆	ケアサポートせいふう 福島	ニチイケアセンター太平寺
居宅介護支援センター よつ葉	ケアプランセンター らこば	しみずの里指定居宅介護支援事業所
ひかり指定居宅介護支援事業所	ケアプランセンター あずま	計 17事業所

■立子山・飯野地域包括支援センター(担当圏域内：立子山・飯野方部)

(収入 19,352千円 支出 16,364千円)

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種を配置して、市民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行った。主な業務は、介護予防事業及び包括的支援事業(①介護予防ケアマネジメント業務、②総合相談・支援業務、③権利擁護業務、④包括的・継続的ケアマネジメント事業)で、行政や民生委員、関係機関との連携を構築して実施した。

1. 要支援1・2の認定者の状況把握数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	6	3	7	15	9	8	6	14	14	7	10	4	103

2. 介護予防サービス計画の作成件数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数(a)	63	63	61	55	62	68	62	63	63	63	66	65	754
委託件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	63	63	61	55	62	68	62	63	63	63	66	65	754
包括職員数(b)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	月平均 3.0
一人当たりの担当件数(a)／(b)	21.0	21.0	20.3	18.3	20.7	22.7	20.7	21.0	21.0	21.0	22.0	21.7	月平均 20.9

3. その他事業

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防教室開催回数	2	6	18	12	10	10	11	7	7	6	11	4	104
介護予防プラン作成件数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
来所者数	3	13	11	10	5	1	1	10	2	7	3	5	71
電話相談	39	76	62	54	78	43	33	68	51	31	75	58	668
訪問	78	75	69	53	72	53	69	92	86	69	72	65	853

■事業係

(収入 942千円 支出 27,567千円)

- ①介護保険事業実績管理
 - ④非常勤職員賃金支払業務
 - ⑦実習生の受入れ(別表)
- (別表)

- ②介護報酬請求事務
- ⑤介護職員処遇改善加算に関する業務

- ③利用料請求事務
- ⑥職員の研修に関する業務

研修内容	人数	学校名
教員免許取得のための介護実習	34	福島大学・上越大学・白鷗大学・玉川大学・大阪芸大
介護福祉士等資格取得のための研修	6	郡山健康科学専門学校1 福島北高校2 東北医療専門学校1 福島介護福祉専門学校2
市民後見人インターンシップ	1	地域後見推進センター
計	41	

平成28年度 福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館 受託事業報告

福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館では、在宅身体障がい者の自立及び社会参加促進のため、次の事業を実施した。

1 デイサービス支援事業 (1,887千円)

脳卒中後遺症者等を対象に、医師の診察、理学療法士の指導による訓練器具を使用しての自主訓練及び他動訓練を行った。

延回数 44回 延人数 444名

2 デイサービス事業 (797千円)

身体障がい者を対象に、創作的活動教室等を実施した。

No	事業名	延回数	延人員	内 容
1	史跡めぐり	1	23	在宅身体障がい者を対象に、歴史や文化を学びながら、またレクリエーションを通し、相互の親睦と交流を図った
2	将棋・オセロ大会	1	23	
3	吹矢教室	2	29	在宅身体障がい者を対象に、手指の機能回復訓練を兼ねるとともに、想像力を養い社会生活の向上を図った
4	こもの作り教室	5	48	
5	手打ち蕎麦体験教室	2	20	
6	山野草教室	6	84	
7	障がい者ボランティア入門講習会 (視覚障がい者編)	2	24	市民を対象に、障がい者ボランティアのきっかけづくりを図った
計		19	251	

3 社会参加促進事業 (762千円)

市民を対象に身体障がい者ボランティアの養成を実施した。

No	事業名	延回数	延人員	内 容
1	点字入門講習会	6	67	市民を対象に、視覚障がい者を支援する点訳・音訳ボランティアを養成した
2	点字講習会基礎課程	12	103	
3	点字学習指導員講習会	6	46	
4	音訳奉仕員養成講習会	6	26	
5	要約筆記者養成講習会	11	63	市民を対象に、聴覚障がい者・中途失聴者等を支援する要約筆記者を養成した
計		41	305	

4 手話通訳者設置事業 (11,118千円)

手話通訳者2名を福島市役所障がい福祉課へ出向させ、聴覚障がい者への手話通訳等の業務を実施した。
・通訳件数 646件

平成28年度福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館 指定管理者事業報告

福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館の指定管理者として、障がい者の福祉の増進を図るため次の事業を実施した。(17,242千円)

- 1 施設および設備の維持管理に関する業務を行った。
- 2 利用団体代表者と利用団体連絡会を開催し施設利用等についての意見交換を行い、管理運営に反映させた。
- 3 腰の浜会館で実施している事業内容を広く市民に周知するとともに、身体障がい者への理解を深めていただくことを目的に、実施事業等の写真・作品展を開催した。
- 4 災害、事故など緊急時の対応を円滑に行うため、会館利用者、町内会、隣接事業所、業務委託者、職員合同による消防訓練等を実施した。
- 5 会議室等、施設の貸出を行った。

■団体貸出

区分	団体数			利用件数(件)			利用人数(人)		
	H27	H28	増減	H27	H28	増減	H27	H28	増減
障がい者団体	31	31	0	436	416	△20	2,504	2,288	△216
ボランティア団体	7	7	0	44	36	△8	342	340	△2
公的機関等	3	3	0	58	56	△2	939	840	△99
計	41	41	0	538	508	△30	3,785	3,468	△317

■市委託事業利用

区分	事業数			利用件数(件)			利用人数(人)		
	H27	H28	増減	H27	H28	増減	H27	H28	増減
ディサービス支援事業	1	1	0	44	44	0	934	1,068	134
ディサービス事業	6	6	0	18	18	0	381	383	2
社会参加促進事業	4	4	0	35	35	0	355	415	60
計	11	11	0	97	97	0	1,670	1,866	196

総計	52	52	0	635	605	△30	5,455	5,334	△121
----	----	----	---	-----	-----	-----	-------	-------	------

平成28年度 福島市飯野地域福祉センター 指定管理者事業報告

福島市飯野地域福祉センターの指定管理者として、地域福祉推進の活動拠点として地域福祉の向上を図るため次の事業を実施した。

1. 施設および設備の維持管理に関する業務をおこなった。
2. 地域福祉の向上を図るための施設の提供をおこなった。

○集会施設（会議室・和室）の利用状況

区分	利用団体数（件）			利用人数（人）		
	H28	H27	増減	H28	H27	増減
4月	30	30	0	587	589	△2
5月	26	25	1	418	389	29
6月	31	29	2	550	580	△30
7月	33	25	8	691	496	195
8月	25	15	10	375	248	127
9月	33	28	5	572	479	93
10月	33	25	8	560	471	89
11月	30	28	4	614	490	124
12月	36	27	9	676	490	186
1月	26	22	4	491	424	67
2月	31	21	10	592	478	114
3月	41	30	11	684	504	180
合計	375	303	72	6,810	5,638	1,172

3. 飯野町内で避難生活を送る飯舘村の仮設住宅住民等との交流活動の支援をおこなった。

○地元婦人会と仮設住宅の飯舘村民との交流会

- ・開催日：平成28年7月2日(土)
- ・会場：福島市飯野地域福祉センター
- ・内容：ICU学生によるミュージカルと昼食交流
- ・参加者：143名

4. 施設内に団体活動等紹介コーナーを設け、地域住民の自主的な地域福祉活動の支援をおこなった。

5. 地域団体等との協働により施設の環境美化等を促進し、安全で安心して利用できる施設運営をおこなった。

- ・実施日：4月25日、5月25日、6月25日、7月25日、8月25日 延べ5日間ほか
- ・協力団体：地元町内会、長寿会等

6. 施設の利用促進と地域福祉の向上を図るため、自主事業をおこなった。
- デイサービスの夏まつりのための「ねぶた飾り」作成
 - ・ 7～8月作成

 - 地区内ボランティアの文化祭出展及び正月用「ミニ門松」作り教室
 - ・ 平成28年10月17日(月)
 - 参加者：19名

 - 飯舘村仮設住宅住民の正月用「ミニ門松」作り教室
 - ・ 平成28年12月15日(木)
 - 参加者：10名

 - デイサービス・館内用「ミニ門松」及び正面玄関用「門松」作成
 - ・ 12月中旬以降作成
 - ・ 平成29年1月14日(土)実施の平成28年度障がい児交流事業「餅つき大会」でも活用した。

 - 第10回「飯野つるし雛まつり」への参画
 - ・ 飯野地域福祉センター内に、デイサービス利用者等が作成した「つるし雛」を施設内に飾り付け、地域と一体となって地域伝統の「つるし雛まつり」事業を支援した。
 - ・ 実施期間：平成29年2月18日(土)～3月5日(日)
 - 来場者：164名
7. 施設の防火管理及び職員の防災教育を図るため、初期消火、通報連絡、避難誘導等を連携して行う総合的な消防訓練をおこなった。
- ・ 実施日(1回目)：平成28年11月24日(木)
 - ・ 実施日(2回目)：平成29年3月29日(水)